

いわて復興だより



復興に向けて歩み続ける岩手県の今を紹介します

平成 23 年 3 月 11 日に東日本大震災津波が発生しました。発災以来、国内外から多くの温かい励ましや御支援をいただいております。心から感謝申し上げます、この「つながり」を大切にしていきたいと思っております。復興に向けて歩み続ける岩手の今を紹介します。

がんばろう!岩手 つなごろう!岩手 第 154 号 令和元年 10 月号

台風第 19 号 沿岸地域を中心に大きな被害

10 月 13 日 (日) 未明に東北地方の東海上を通過した、大型で強い台風第 19 号の影響で、県内では沿岸地域を中心に大きな被害が発生しています。

犠牲になられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被害に遭われた全ての皆様にお見舞い申し上げます。

■被害状況■

10 月 23 日
6:00 現在

人的被害	
死者	2 人
重傷	5 人
軽傷	3 人

住家被害	
全壊	18 棟
半壊	313 棟
一部破損	714 棟
床上浸水	382 棟
床下浸水	753 棟

■台風第 19 号の被害状況・対応状況

岩手防災情報ポータル



■岩手県内の道路情報

岩手県道路情報提供サービス



つ な み

東日本大震災津波伝承館「いわて TSUNAMI メモリアル」開館

陸前高田市
RIKUZENTAKATA

岩手県が陸前高田市の高田松原津波復興祈念公園内に整備を進めてきた、東日本大震災津波の事実と教訓を伝える施設「東日本大震災津波伝承館」(愛称:「いわて TSUNAMI (つなみ) メモリアル」)が、「国営追悼・祈念施設の一部」及び「道の駅高田松原」とともに、9 月 22 日 (日) にオープンし、当日は約 2,000 人の方が来館しました。

伝承館の開館に先立ち行われた「高田松原津波復興祈念公園 国営追悼・祈念施設 道の駅高田松原 東日本大震災津波伝承館 オープン式典」において、達増知事は「風化を防ぐには教訓の伝承と復興する姿の発信が重要。三陸沿岸の遺構や伝承施設のゲートウェイ(入り口)として各施設と連携していく」と決意を述べました。

また、オープニングコンサートでは、バイオリニストの式町水晶(しきまちみずき)さんの震災の流木で作られた楽器による演奏、高田第一中学校の 3 年生による合唱が披露され、その美しい音色に多くの方が耳を傾けていました。

伝承館には、開館前から 100 人を超す方々が列をつくり、「いわて TSUNAMI (つなみ) メモリアル」の命名者である高田高校 2 年生の菅野由夏さんをはじめとする高田高校の皆さんが、職員とともに来館者を出迎えました。

菅野さんは、伝承館の開館式典において「震災を知らない小さい子どもたちや外国の方に来てほしい」と呼びかけました。

館内では、数々の展示やシアターの映像に見入る方や、解説員の説明に熱心に耳を傾ける方の姿が数多く見られ、震災の伝承・発信の重要性を改めて実感する 1 日となりました。

伝承館はオープンから 6 日目の 9 月 27 日 (金) に来館者の数が 1 万人を超え、連日、国内外から多くの方が訪れています。

今後も、震災の風化を防ぎ、東日本大震災津波の事実と教訓を世界中に、そして、未来に向けて発信していく伝承館に是非御来館ください。



国営追悼・祈念施設、道の駅「高田松原」及び東日本大震災津波伝承館



展示物の一部(被災した消防車)



解説員の説明に聞き入る子どもたち



オープン式典でのテープカットの様子

東日本大震災津波伝承館の開館情報

- ・開館時間 9 時から 17 時まで(最終入館時間 16 時 30 分)
- ・休館日 12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まで
※ 臨時の休館日は公式ホームページなどでお知らせします。
- ・入館料 無料
- ・団体予約 40 人以上の団体を対象として予約を受け付けています。

詳しくは公式ホームページを御覧ください。

(公式 HP)

<https://iwate-tsunami-memorial.jp/>



ラグビーワールドカップ 2019™ 岩手・釜石開催

釜石市
KAMAISHI

世界中のラグビーファンが待ち望んだラグビーワールドカップ 2019™日本大会が、9月20日(金)の日本代表の勝利で幕を開けました。

日本中が盛り上がる中、9月25日(水)には東日本大震災津波の被災地で唯一の開催地である釜石市の釜石鶴住居復興スタジアムにおいて、フィジー対ウルグアイの試合が行われました。スタジアムには国内外から多くの観客が訪れたほか、釜石市民ホール TETTO に設置されたファンゾーンや県内4カ所で開催されたパブリックビューイングにも多くの方々に来場いただき、両チームの闘志あふれるプレーにより、会場は大きな歓声とたくさんの笑顔が溢れました。

会場である釜石鶴住居復興スタジアムは、津波で被災した鶴住居小学校と釜石東中学校の跡地に建設され、「復興のシンボル」としても世界中から注目を集めています。

9月25日の試合前には、釜石市内の小中学校の児童生徒によるビッグフラッグでの感謝のメッセージが発信されたほか、地元の郷土芸能が披露されるなど、世界中からいただいた支援への感謝と復興に取り組む姿を国内外に力強く発信することができました。

このあと、10月26日(土)、10月27日(日)準決勝、11月1日(金)3位決定戦、11月2日(土)には決勝戦が行われます。ファンゾーンや盛岡市内においてパブリックビューイングを実施する予定ですので、是非会場へ足を運び、「一生に一度」の大会を最後まで楽しみましょう！

※ファンゾーンとパブリックビューイングの実施予定については、「いわて・かまいしラグビー情報」のホームページを御覧ください。



フィジー対ウルグアイの様子



児童生徒によるビッグフラッグでの感謝のメッセージ

岩手・釜石開催 試合結果

【釜石鶴住居復興スタジアム】

- 9月25日(水)
フィジー 27 - 30 ウルグアイ
- 10月13日(日)
ナミビア 対 カナダ
(台風第19号により中止)

釜石市内の小中学生が「ありがとうの手紙 #Thank You From KAMAISHI」の合唱を披露

釜石市
KAMAISHI

9月25日(水)、釜石市の全小中学校14校約2,000人が、釜石鶴住居復興スタジアムで開催されたラグビーワールドカップ 2019™日本大会のフィジー対ウルグアイの試合前に、東日本大震災津波の復興支援への感謝の気持ちを世界中の人たちに伝えようと作られた「ありがとうの手紙 #Thank You From KAMAISHI」の合唱を披露しました。

この曲は、2017年に発足した市内の全小中学校の児童生徒で組織される「かまいし絆会議」で制作が進めら

れ、「大切な人への手紙」をテーマに歌詞を募り、世界中の人たちや家族、仲間や友人に向け感謝の気持ちを伝える歌となりました。

市内14校の小中学生は各学校での練習を重ね、この日は、両国の選手と観客約1万4,000人の前での披露となりました。

併せて「ありがとうの手紙」で感謝の気持ちを伝える動画を作成し、動画投稿サイト「YouTube」で公開されていますので、是非御覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=Rz6nTvK0-DI>



合唱する児童たち (写真提供: 栗林小学校)



試合を応援する児童たち (写真提供: 左・栗林小学校/右・甲子小学校)



「YouTube」で公開されている動画

三陸鉄道利用者 5,000 万人突破 記念セレモニーを開催

宮古市
MIYAKO

三陸鉄道は、8月26日（月）、開業からの累計乗車人員が5,000万人を突破したことから、宮古駅構内で記念セレモニーを開催しました。

1984年4月1日、三陸鉄道は、沿線住民の長年の悲願を受け、旧国鉄の路線を引き継いだ全国初の第三セクター鉄道として、南リアス線（盛駅～釜石駅間）36.6kmと北リアス線（宮古駅～久慈駅間）71.0kmの運行を開始しました。

東日本大震災津波では、線路や駅舎などが甚大な被害を受けましたが、2019年3月23日には、JR東日本から、JR山田線（釜石駅～宮古駅間）の移管を受け、盛駅～久慈駅間163kmをひとつの路線で結ぶ“リアス線”として運行を開始し、沿線の人口が減少する中、乗客数は増加傾向にありました。

セレモニーで中村社長は「より多くの人に利用してもらいたい」と挨拶し、利用者5,000万人突破を祝いました。

*台風第19号の影響によるリアス線の運行状況は三陸鉄道のホームページを御確認ください。



5,000万人目となった乗客との記念撮影（写真提供：三陸鉄道株式会社）



「吉里吉里学園中学部」 校庭の引き渡し式

大槌町
OTSUCHI

9月29日（日）、大槌町の吉里吉里学園中学部（金野校長、生徒37人）の校庭に整備された応急仮設住宅が撤去され、復旧工事が完了したことから、学校へ校庭が引き渡されました。

同校の校庭には、2011年4月に応急仮設住宅80戸が整備されましたが、昨年9月までに全住民が退去したことから、12月から撤去作業が進められました。今年6月からは、グラウンドの復旧作業が始まり、9月25日に全ての復旧工事が完了しました。

校庭の引き渡し式には、生徒をはじめ、保護者や工事関係者など約60人が参加し、生徒会長から工事の現場監督に、花束とともに感謝の言葉とエールが送られました。

この引き渡しをもって、岩手県の東日本大震災津波の被災地において、校庭に整備された全ての応急仮設住宅が解消され、児童生徒たちが校庭を使用できるようになりました。



引き渡し式で感謝を述べる生徒
（写真提供：吉里吉里学園中学部）



引き渡された校庭で輪になる生徒たち
（写真提供：吉里吉里学園中学部）



さんりくイベント情報



EVENT

令和元年度第1回「いわて復興未来塾」

「思いを伝え、つなぐ。未来のための伝承・発信」

定員
130名

- 開催日：11月16日（土） ■時間：14:00～16:30
- 会場：キャピタルホテル1000 カメリアプラザホール
（陸前高田市高田町長砂60-1）

■内容

【基調講演】 徳山日出男氏（政策研究大学院大学客員教授）
【パネルディスカッション】

- ・菅野真美恵氏（FMねまらいんパーソナリティー）
- ・山崎麻里子氏（中越メモリアル回廊アンバサダー）
- ・越戸浩貴氏（一般社団法人マルゴト陸前高田理事）
- ・佐藤克美氏（気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館館長）
- ・徳山日出男氏（基調講演者）



■詳細は、県ホームページを御確認ください。



無料シャトルバス《盛岡⇄陸前高田》を運行（先着）
バス利用の方は、「東日本大震災津波伝承館」の見学ができます！
※詳細は事務局までお問い合わせください。

■問い合わせ：いわて未来づくり機構

（事務局：岩手県復興局復興推進課） ☎019-629-6945

11/2

土

三陸山田かき小屋

山田町の名物「蒸し焼きカキ」の提供が開始されます。カキの食べ放題のほか、「貝盛ミックスプラン」など、お好みに合わせてプランを選ぶことができます。

2020

6/30

火

場所▶山田かき小屋

完全
予約制

*2名様以上、2日前までにお電話でお申し込み下さい。

申し込み・問い合わせ

山田町観光協会

☎0193-65-7901

（受付時間 9:00～17:00 水曜日定休）

11/2

土

令和元年度 陸前高田市産業まつり

場所▶アバッセたかた
まちなか広場周辺

11/3

日

新鮮な海産物や採れたて野菜などの陸前高田の特産品が販売されるほか、木工作教室や市内の商工業者による商品の展示販売も行われます。交流都市コーナーでは名古屋市、武雄市、松坂市、松江市などからの出店も予定されています。

問い合わせ▶

陸前高田市産業まつり実行委員会

（陸前高田市商政課商工係）

☎0192-54-2111



三陸鉄道 南リアス線の開業当時は、駅周辺の地名に由来し駅名も「小石浜駅」でしたが、2009年に大船渡市のブランドホタテ“恋し浜”にちなみ「恋し浜駅」に改称されました。

美しい海とリアス海岸を車窓から楽しめる三陸鉄道リアス線の「恋し浜」駅は、大船渡市盛町の盛（さかり）駅から3つ目の駅で、越喜来湾を見下ろせる高台に位置するため、東日本大震災津波では被害を免れることができました。

「恋し浜駅」は愛の磯辺という愛称で知られ、鳴らすと恋愛が成就すると言われる「幸せの鐘」がホームに設置されています。また、無人の待合室には、地元のブランドホタテ「恋し浜」の貝殻とペンが用意され、貝殻を絵馬に見立て、願い事を書いて飾ることができます。



貝殻の絵馬が飾られている待合室

駅の名称から、恋愛のパワースポットとして観光客から人気を集めています。

- 住所
大船渡市三陸町綾里字小石浜
- 問い合わせ
三陸鉄道旅客営業部 ☎ 0193-62-7000

*台風第19号の影響によるリアス線の運行状況は三陸鉄道のホームページを確認ください。

三陸鉄道 <http://www.sanrikutetsudou.com/>



連載「いわてさんりくびと」では、被災地・三陸の復興に向け、熱い想いをもち、活躍する方々を紹介していきます。

第99回は、中村 純代さんをご紹介します。

PROFILE

九州で生まれ、島根県と鳥取県で過ごした後、東京で暮らす。

ボランティアを機に大船渡市に移住し、現在、株式会社 キャッセン大船渡で、施設管理、イベント企画、販売促進等の業務を担当する。

東日本大震災津波発災直後、留学のために渡航していた中村さんは、2011年夏に一時帰国しました。「海外では原発事故のニュースが大きく取り上げられており、帰国した際に東北を実際に訪れて被害の大きさを知りました。自分に少しでも何かできればと思い、その後ボランティアとして岩手に来ました」と当時を振り返ります。

沿岸被災地を回る中、大船渡の人たちと出会い、共に過ごす中でこの地域の魅力に惹かれた中村さんは、大船渡に留まることを決意します。

いわてさんりくびと

株式会社 キャッセン大船渡
リテールマネジメント担当
中村 純代
(なかむら すみよ) さん



世界中からキャッセン大船渡にきゅっせん!!
WELCOME TO OFUNATO!

新しく懐かしい賑わいを

「大船渡に住み続けたいと思っていたところに、商業施設“キャッセン大船渡”のオープンに合わせ声をかけていただきました。“キャッセン大船渡”は津波の跡地に建設された新しい施設と思われがちですが、店舗の約6割は、元々この地域でお店を開いていた方たちです。以前の商店街がそうだったように、ここが地域の人たちの生活の一部になっていけばと思います」と中村さんはこの地域の賑わいの創出に力を注いでいます。

地域の方たちとの連携を大切に

「大船渡は、ハード面での復興は比較的早く進みましたが、人々の暮らしや地域が、震災後に思い描いた復興の姿になるためには、まだまだこれからです。お世話になった地域の方たちとも力を合わせて、また訪れたい、いつでも来たい、そしてずっと住みたい、そんなまちづくりを一緒にしていきたい」と中村さんはまちづくりに想いを寄せます。

岩手県の被害状況

令和元年9月30日現在

皆様のご支援、ありがとうございます

令和元年9月30日現在

- ▶人的被害 死者（直接死）：4,674人 行方不明者：1,113人
死者（関連死）：469人
- ▶建物被害（住家のみ、全半壊） 26,079棟

被害状況等の詳細
義援金・寄付金の募集等

[いわて防災情報ポータル](#)

[検索](#)

- ▶義援金受付状況 約187億172万円（96,962件）
- ▶寄付金受付状況 約200億3,251万円（9,097件）
- ▶いわての学び希望基金（※）受付状況 約99億2,283万円（23,615件）

※被災した子どもたちが勉強やスポーツ等に励めるよう「くらし」「まなび」の支援に使われます。



いわて震災津波アーカイブ～希望～
約24万点の資料を検索・閲覧できます。

[いわて震災津波アーカイブ](#)

[検索](#)



いわて復興だより [Web](#)

一部ニュース、いわてさんりくびとを動画で紹介しています。
ビジュアル豊富なWebもご覧ください。

